

平岡東小だより

特別号

2023.9.26

平岡東小学校

4月18日木曜日、全国の小学6年生を対象に、「2023年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。国語と算数それぞれで、「知識・技能」を問う問題や「思考力・判断力・表現力等」を問う問題で、調査がおこなわれました。

その調査結果が7月末に公表されました。今後の教育の改善と向上に向けて、調査結果から、本校としての課題と改善策等を以下のようにまとめましたので、ご報告させていただきます。

《学力状況調査の結果》

国語…国語全体の結果は、全国平均をやや下回っていました。

言葉の特徴や使い方に関する問題や、目的に応じて中心となる語や文などの必要な情報を見つける問題は正答率が高かったです。日頃から文章を読み、内容を把握する成果が表れていると考えます。

課題は、以下の3点です。

- (1)「自分の考えをまとめて書く、考えが伝わるように書き表し方を工夫する」といった思考力や表現力に課題が見られます。文章や図表、グラフなどの資料から読み取ったことに基づいて、自分の考えをまとめ具体的に表現するという課題に粘り強く取り組んでいくことが大切です。
- (2)「漢字の習得」です。漢字の字形に注意し、繰り返し書いて習得することに加えて、漢字のもつ意味を考え、文章の中で適した漢字を使うことができるように、漢字の読み書きの学習をおこなっていくことが大切です。
- (3)「敬語の使い方」です。日常よく使われる敬語を理解し、場面に応じて適切に用いることに課題が見られます。

上記の3点を踏まえ、文章中の語句の役割や関係、漢字のもつ意味を考えて正しく書く等の基礎的・基本的な内容の定着と、根拠を明確にして自分の考えを表現する思考力、判断力、表現力等を育成するバランスの取れた学習の取組を進めていくことに重点を置いて取り組んでまいります。

算数…算数全体の結果は、全国平均をやや下回っていました。

「数と計算」の領域を中心に、短答式の問題は正答率が高かったです。日々の計算練習や家庭での反復練習の効果が出ていると考えます。

課題は、以下の2点です。

- (1)「図形」の領域の問題です。正三角形の意味や性質に対する理解を問われる問題や、三角形の面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題です。
- (2)「変化と関係」の領域です。百分率で表された割合を、示された基準量と比較量から選択する問題です。

上記2点ともに、「示された問題内容の説明を解釈する力」や「筋道立てて考え、説明する力」が求められています。

これらの課題を踏まえ、計算の仕方を自らが判断する場面や、それが適切であるかどうかを振り返る場面を設けたり、分数や小数、百分率等多様な表現方法を関連づけ、それらを活用したりする学習を充実させてまいります。

《児童質問紙調査の結果》

良好	肯定的な回答 [当てはまる、どちらかといえば当てはまる] をした割合が高い	
	・朝食を毎日食べていますか。	91.0%
	・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	90.4%
	・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	92.8%
	・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	95.2%
	・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	95.1%
	・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.9%

課題	肯定的な回答 [当てはまる、どちらかといえば当てはまる] をした割合が低い	本校	全国
	・国語の勉強は好きですか。	55.2%	61.5%
	・英語の勉強は好きですか。	47.6%	69.3%

《今後の改善策》

今回の全国学力・学習状況調査の結果から、学習面では、全国平均と比較すると正答率がやや低い傾向であることわかりました。この課題に対応するためにも、加古川市全体で取組を進めている協同的探究学習による授業改善の研鑽に励み、「主体的に言語活動に取り組み、共に高め合う授業づくり」に今後も継続して取り組んでまいります。まず、様々な教科において、多様な考えや解法が可能な問題に取り組みせながら、子どもたち同士が自分の考えを主体的に表現できる授業を行います。そして、自分や他者の考えを基に、学習内容の本質を理解し身につけられるよう、対話的な授業を一層充実させてまいります。今後も、「できた」「わかった」という気持ちを育めるよう、温かく丁寧な指導を心がけてまいります。

質問紙では、普段の生活習慣を問う質問、先生との関係性を問う質問、規範意識を問う質問等において、本校は全国平均よりも肯定的な回答率が高く、きまりを守ることやいじめを許さないことについて、正しい認識をもっていることが確認できたことは、人を大切にする人権意識の基礎が培われている証だと考えております。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」に関する質問においても、本校は全国平均よりも肯定的な回答率が高かったです。地域共生社会・多文化共生社会の実現に向け、意欲的に捉えている子どもたちの思いをより一層育んでいきたいと考えております。

今後も、子どもたちの気持ちに寄り添い、日々の児童の変化について、直接的なかかわりや日記・アンケート等を通して、早期発見及び情報交換・情報共有し、お互いに心の通い合った教育活動を進めていけるよう、取り組んでまいります。

本校の学校教育目標に掲げている『自ら学び 共に伸びる子の育成』を実現するためには、保護者の皆様や地域の方々からのご協力が必要不可欠です。今後とも、平岡東小学校の教育に変わらぬご理解ご支援を、何卒よろしく願いいたします。